

口吉川地区 市政懇談会資料 (意見交換)

日時：令和7年9月18日

午後7時30分～

場所：口吉川町公民館

市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	なか た かず ひこ 仲 田 一 彦
副 市 長	いし だ ひろし 石 田 寛
副 市 長	ごう だ ひとし 合 田 仁
教 育 長	おお きた ゆ み 大 北 由 美
総合政策部長	あか まつ ひろ あき 赤 松 宏 朗
総務部長	ふじ わら けん じ 藤 原 健 二
市民生活部長	くだ まつ とし き 降 松 俊 基
健康福祉部長	やま しろ ち あき 山 城 千 明
産業振興部長	あら いけ よう じ 荒 池 洋 至
都市整備部長	とも さだ ひさし 友 定 久
上下水道部長	にしき のぼる 錦 昇
議会事務局長	こう もり のぶ あき 公 森 伸 明
消 防 長	だい とう しげ よし 大 東 成 吉
教育総務部長	もり た ま き 森 田 真 規
教育振興部長	やま ぐち まさ あき 山 口 正 明

地区からの意見・提言(意見交換)

口吉川地区

	意見・提言の内容	回答者
1	三木バイオテック(株)三木堆肥化センターの悪臭問題について	市民生活部長
2	小学校の学校再編について	教育振興部長

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	1	三木バイオテック(株)三木堆肥化センターの悪臭問題について（区長協議会）
<p>(内容)</p> <p>本年3月に設置された噴霧装置により、若干の成果は感じられるようであるが、まだ近隣の保木地区においては悪臭の報告が届いている。市として県との連絡を密にして、しっかりとした指導をしていただきたい。今後の市としての対応方針、方策について伺いたい。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部 環境政策課	
<p>当該案件は、当地域において長年にわたる大きな課題であることは十分に承知しており、県と市が連携し改善に向けて指導を行っているところです。</p> <p>本年7月9日に県及び市が立会いのもと、アンモニア等、不快な臭いの原因となり、生活環境を阻害するおそれのある特定悪臭物質（22種類）について悪臭測定を行いました。</p> <p>測定は、脱臭設備のポイントである、反応槽の入口と出口、活性炭槽の入口と出口（排気塔）の4か所、当日の風向きを考慮して風下側の敷地境界1か所の計5か所で実施しました。</p> <p>なお、活性炭槽の出口（排気塔）では、3回測定しました。</p> <p>測定の結果、特定悪臭物質は全て規制濃度の範囲内でした。</p> <p>しかしながら、地域からまだ悪臭が発生しているとの意見をいただいていることから、引き続き、事業所へは、悪臭防止法に定められる基準が遵守されるよう定期的な測定を実施するとともに、シャッターの開閉の徹底や脱臭装置等、設備の定期的なメンテナンス等がしっかりと実施されるよう対応してまいります。</p> <p>また、周辺住民から悪臭の苦情があった場合には、今後も県と連携し事業所に立入調査を行い適正な運営がされるよう指導いたします。</p>		

市政懇談会 回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言等	2	小学校の学校再編について（区長協議会）
<p>(内容)</p> <p>市が2019年に策定した「三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針」では、1学年2学級以上で、クラス替えのできる集団規模を確保できなくなった学校が再編の対象となるとしている。</p> <p>豊地小学校においては統廃合も含め検討に入られると神戸新聞にも掲載されていた。口吉川小学校においても同様の状態であることから、町としても検討していかなければならないものと考えています。市として、教育委員会としての方向性についてお聞きしたい。</p>		
回 答	(担当課) 教育振興部 学校教育課	
<p>昨今の児童数の減少に伴い、学校規模が縮小していく傾向は全国的にみられ、三木市も例外ではありません。</p> <p>教育委員会としましては、児童数の減少に伴う学校規模の縮小に起因する子どもへの影響については、教育的観点からも喫緊の課題であると認識しております。特に、1学年が単学級であり、かつ児童数が著しく少ない学校については、子どもたちの学びの質や多様な人間関係の形成に影響を与える可能性があるため、今後の在り方について検討を進める必要があると考えています。</p> <p>そこで、令和元年に策定した「三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針」に基づきながら、これまでから学校の規模や実態に応じて、地域の皆様と協議を重ねながら、よりよい教育環境の構築に努め、学校再編に取り組んでまいりました。</p> <p>現在、口吉川小学校を含めた小規模校においては、地域の様々な方々に支えられながら、他校との交流活動をはじめ、創意工夫を凝らした教育活動を展開しています。</p> <p>しかし、口吉川小学校についても、1学年が単学級であり、かつ児童数が著しく少ない状態が進んでおり、先に述べたような教育的な観点から、今後の学校の在り方について検討を進めていく必要があると考えています。</p> <p>新聞記事は、細川地区の就学前のお子様や小学校に通う児童の</p>		

保護者を対象に実施したアンケートの結果、「より多くの子どもたちとの関わり」を求め、学校の再編を望む保護者が全体の 7 割以上を占めたことも踏まえ、市としては子どもたちにとって望ましい教育環境の在り方について検討していく場を積極的に設け、速やかに今後の方針を決定していきたいという内容でした。

今回の新聞記事は豊地小学校に関するものでありますが、児童数の減少に関する様々な課題については、口吉川小学校も同様であり、教育委員会としても重要かつ喫緊の課題であると考えています。

しかしながら、学校再編は地域にとって非常に大きな影響をもたらすものであり、決して行政側の一方的な判断で進めていくものではないと考えています。

したがって、市としましては、今後の口吉川小学校の在り方について、地域の皆様の思いに寄り添いながら、丁寧に協議を重ね、方針を固めてまいりたいと考えています。

<メ モ>

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.